

「エンパイアペーパー」

Cast: カマウ・カーター（新入社員、クマ社長）

アレックス・クレイグ（アレックス先輩）

クリスチャン・マックグロスリンクレイソ（ジョールダン課長、アンデリア）

Company: エンパイアペーパー

Other Company: スタークリップス

CH 1: Standard Business Manners (ビジネスマナーの基本)

- introduction
- bowing
- uniform
- manners
- instructions

Act 1: Meet the New Employee

Scene 1: (Kamau is seen outside his new office of employment, he is looking at a picture of another man who looks just like Kamau, except he's holding bags of money. In a separate newspaper clipping showing the death of a man with a striking resemblance to Kamau. He angrily looks up from his paper and tucks it into his pocket and heads inside ready to exact his revenge. He must become the perfect businessman to make it all the way to the head of the company, who he believes killed the man in the article.)

(He accidentally greets employees using humble form.)

Kamau: こんにちは。私は新入社員ですが、受付はどこですか。

Christian: 受付はそっちですよ。

(Christian prompts Kamau to follow them where he checks in with Alex)

Kamau: クマ社長がおりますか？

Alex: おります...か？はい...おりますが、少々お待ち下さい。

(Alex rings the president confirming that the new employee is here to meet with him)

Alex: クマ社長、新入社員が来ました。

(Kamau is taken to the president's office where they both give あいさつ. He accidentally greets the company president using 思う.)

Kamau: はじめまして。私はカマウ・カーターと思います。カマウと呼んで下さい。カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校からまいりました。どうぞよろしくお願い致します。

(Alex and Christian facepalm in unison at the simple mistake he just made, as Kamau bends forward to bow he realizes he's too close at the last moment and ends up bumping heads with the president. The president is not taken aback by his impolite introduction, instead he smiles, even though there is.)

Kuma: 大丈夫、大丈夫、心配ない。君は新入社員だから間違いはよくあることだよ。改善するために、必死にがんばってください。

Kamau: はい、すみません。

Alex: 一緒に来てください。あなたの仕事場に案内します。

(End Scene)

Scene 2: (Alex takes Kamau to his desk where he will be working. It is decorated with a computer, phone, and various stationary.)

Kamau: ありがとう！

(He moves in and sets up his workspace. However, as soon as he is finished he puts his headphones on and begins to play loud music that is disruptive to the other employees, while laughing out loud to funny videos on the internet.)

Christian: うるさいもう、カマウ！

(Kamau cannot hear her so they must get up from her desk and knock the headphones off his ears.)

Christian: 何してんのあんた！うるさい！こっちに来て！メモを持って来て。

Kamau: はい！

(Christian leads him to her desk where she instruct him about a job she has for him.)

Christian: あなたの最初の仕事は、スタークリップスに行って、この書類

にサインをもらって来ることよ。アレックスがあなたと一緒に行って。

(Kamau has been making doodles on the memo instead of listening.)

Christian: おい！聞いている？もう、アレックスと行って来て！

Kamau: はい！

(End Scene)

CH 2: Honorific Language (敬語)

- reason for keigo
- types of keigo
- standard rules of keigo

Act 2: Correcting Impolite Behavior

Scene 1: (Alex and Kamau enter スタークリップス)

Alex: 今日は、[アデリア]部長に会いに行きます。今回、謙讓語こんかい けんじょうごを使わなければいけません。

Kamau: できます！

Alex: あの、「おります」は使わないで。それは謙讓語けんじょうごです。

Kamau: でも、あなたは「謙讓語けんじょうごを使わなければいけない」と言いました！

Alex: ちょっと…目上たいの人に対しては、尊敬語そんけいごを使います。社長ぶちょうと部長に話す時は、自分の行動こうどうに対して謙讓語けんじょうごを使います。相手の行動こうどうには、「申します」と言いません。「おっしゃる」を使います。

Kamau: なるほど。では、アデリア部長に話す時は、尊敬語そんけいごを使わなければいけませんよね？

Alex: いいえ、自分の事を話す時は、謙讓語を使います。

Kamau: そうですか？私は自分の事には謙讓語けんじょうごを使いますよ。

Alex: でも、社内社内の人の事を話す時は、謙讓語をつかいます。

Kamau: 本当ですか？でも、今、「目上目上の人の事に対して尊敬語そんけいごを使う」と言いました。

Alex: 社外社外の人に社内社内の人のことを話す時は、謙讓語を使わなければいけないんですよ。

(Kamau shakes his head in agreement but still has a confused look on his face.)

(End Scene)

Scene 2: (Alex and Kamau approach アデリア部長's desk, and Kamau is confused)

Alex: こんにちは。

(Everybody bows, but Kamau still looks confused.)

~Kamau: この先輩はちょっと疑^{うたが}わしいな。どうしてここにクリスチャン課長^{かちょう}がいるんだろ？たぶん、テストかな？～

(Kamau nods to himself)

Alex: 私はアレックス・クレイグと申します。「エンパイヤペーパー」から参^{まい}りました。どうぞよろしくお願い致します。

(Alex hands over his card. アデリア accepts the card and then hands over her own. Kamau steps up excitedly remembering the mistakes he made upon first arriving at the company, leading into flashback)

****Insert Scene from Chapter 1****

(Christian prompts Kamau to follow him where he checks in with Alex)

Kamau: クマ社長はおりますか？

Alex: おります...か？はい...おりますが、少々お待ち下さい。

(Alex rings the president confirming that the new employee is here to meet with him. Kamau is taken to the president's office where they both give あいさつ. He accidentally greets the company president using 思う.)

Kamau: はじめまして。私はカマウ・カーターと思います。カマウと呼んで下さい。カリフォルニア州立大学モンターレーベイこうからまいりました。どうぞよろしくお願い致します。

(Back from flashback, Kamau steps forward to introduce himself.)

Kamau: はじめまして。私はカマウ・カーターと申します。スタークリップスから参^{まい}りました。どうぞよろしくお願い致します。

(The other employees look impressed and Alex gives Kamau a secret thumbs up.)

アデリア部長: 印鑑^{いんかん}はひつようでしょうか？

Alex: はい。

Kamau: この文書は何だっけ？

Alex: ちょっと待って

(Alex hands the documents to アデリア. They read over the documents. Alex pulls Kamau over to whisper.)

Alex: 会議のあとで質問を受け付けます。

Kamau: でも、何をしますか？どうしてこの文書に印鑑が必要ですか？

Alex: あなたは喋りすぎます！失礼です！

Kamau: 本当ですか？かしこまりました。

(Alex and Kamau turn their attention back to アデリア who hands the documents back to Alex.)

アデリア: 来週の会議は火曜日ですね？

Alex: はい。

アデリア: この文書を来週の会議に持って来てくださいね。

Alex: はい、かしこまりました。

アデリア: さようなら。

Alex & Kamau: さようなら。

(Alex & Kamau bow)

(End Scene)

Scene 3: (Alex and Kamau are walking back to the company along a street)

Kamau: その文書は何だっけ？

Alex: 何ですか。「何だっけ」は失礼ですよ。目上の人には丁寧語を使います。

Kamau: あの... でも、アデリア部長には尊敬語を使いました。

Alex: ビジネスの世界では辞書形を使いません。日本のビジネスの世界では、敬語は大切です。「ます」と「です」の言葉を使ってください。

Kamau: なるほど。かしこまりました、先輩。

Alex: がんばって。丁寧語と尊敬語と謙譲語を覚えてくださいね。

(End Scene)

CH 3: Honorific Language Pt 2 (敬語 II)

- polite words

- cushion phrases
- impolite/excessive keigo
- when to use “o” and “go”

Act 3: The Ways of Polite Business Language

Scene 1: (After having corrected Kamau on his incorrect grammar usage Alex prepares to explain to him the rest of polite business behavior.)

Alex: 実は、ビジネスの世界では色々な言葉があります。

Kamau: そうですね？たとえば？

Alex: たとえば、「今日」は「きょう」と読むでしょう？

Kamau: そう。

Alex: でも丁寧語になったら「今日」は「本日(ほんじつ)」と読みます。

Kamau: そうですね！知らなかった！

Alex: 「明日」は「明日(あす)」と言います。「今年」は「本年(ほんねん)」と言います。「さっき」は「先程(さきほど)」と言います。

Kamau: へええ....

Alex: 動詞どうしの活用も大切です。「食べる」や「飲む」は「召し上がる」になります。

「分からないところ」は「ご不明な点」と言います。

Kamau: じゃあ、レストランに行く時、クリス課長に「何を召し上がる」と言いますか？

Alex: 「ですか」と「ますか」で質問する時は、丁寧語になったら「でしょう」や

「ましようか」と言います。でも例外れいがいがあります。「ますか」は自分の行動こうどうだった

ら「ましようか」と言います。相手の行動こうどうだったら「ますでしょうか」と言います。

Kamau: とてもむずかしい！ぜったいに覚えられません。

(Kamau has a troubled look on his face thinking about all of the different categories he must memorize Alex gives him a reassuring pat on the back.)

Alex: たくさん言葉の種類しゅるいがあるけど、がんばってね、カーターさん。

Scene 2: (Next Alex takes the time to explain to Kamau why it's important to use softer phrases when speaking to others within the business setting. These phrases are known as “cushion phrases” and are important when asking questions or turning down requests politely.)

Christian: あ、何してるの？

Alex: カーター君に敬語を教えている所です。「クッション言葉」です。

Christian: それは私の得意な敬語です。

Kamau: クッション言葉？それは何ですか？

Christian: クッション言葉はスムーズなコミュニケーションのためにあります。とくに相手や上司やお客様と話す時には、かならず使いますよ。

Kamau: どのようにコミュニケーションがスムーズになるのですか？

Christian: そうね...お客様と話すときに、失礼な言葉を使ってほしくないでしょう？たとえば、「恐れいりますが」や「申し訳ございませんが」は何かお願いする時に、使います。「あいにくで

すが」は相手がざんねんに思うことがあった時に、使います。

(Kamau is eagerly writing down this info on his memo pad.)

Scene 3: (Next Christian explains situations in which there is too much use of keigo.)

Kamau: よし！もっと丁寧語を使うぞ！

Christian: じゃあ、一緒にれんしゅうしますか？(Kamau nods his head in agreement) OK! はじめましょう！

(Kamau exits the room then knocks on the door and says 失礼します and enters.)

Kamau: 仕事の後で私のご車に乗って、一緒にご食事を召し上がり頂けございませんでしょうか？

Christian/Alex: お前、丁寧すぎるぞ！(Christian punches him in the face out of frustration)

Alex: ごめんなさい。なんか、クリスチャン課長の悪い癖が移りましたね。でもこれは丁寧すぎるいい例です。

Scene 4: (The final important business aspect is when to use “o” and “go” in front of certain words and phrases)

Christian: これは、「お」と「ご」の一例です。カマウは「車」の前に「ご」を使いました。

Kamau: だから？

Alex:「車」は訓読みなので、「ご車」ではなく「お車」になるのが

正しいです。同じように、「食事」も訓読みなので「お食事」になります。

Kamau: 丁寧に話そうと思って、「お」と「ご」をいっぱい使いました。

Alex: そのようですね。本当だったら、「仕事の後で私の車にお乗りになって、一緒にお食事をしませんか？」と言うべきでした。

Kamau: アレックス先輩は先輩なので、「召し上がり頂けございませんでしょう

か？」は過剰敬語になり、不自然なんですね！

Christian: そうね、「お」や「ご」を使わないと乱暴な言い方で失礼だけど、使
いすぎると大げさになって、不自然だよ。

(End Scene)

CH 4/5 Business Documents (ビジネス文書)

- document style
- letter writing style

Act 4: Becoming a Successful Businessman

Scene 1: (Christian assigns Kamau to write a document to アデリア)

Christian: カマウ・カーターさん。

Kamau: はい！

Christian: スタークリップスのアデリア部長にお礼状を書いてください。その文

書に「三十五年間、協同組合にご協力いただきましてありがとうございます」と

書きたいのです。今日、クマ社長はお礼状をとどける予定です。

Kamau: ...はい...

Christian: 問題がありますか？

Kamau: いいえ、文書を書かせていただきます。

Christian: 本当に？ありがとうございます。

Kamau: 社長は何とおっしゃりたいのでしょうか。

(Christian gives Kamau a dirty look.)

Christian: 私は「三十五年間、協同組合にご協力いただきましてありがとう

ございます」と伝えたいのです。書けますか？

Kamau: 大丈夫です。文書を書かせていただきます。

Christian: よかった。3時から、私は「スタークリップス」に行きます。

Kamau: かしこまりました。

(Christian leaves the room and Kamau turns to Alex)

Kamau: 先輩、文書の書き方が分かりません。

(Alex is surprised)

Alex: 分からないのですか？でも、英語で文書を書いたことがなかったですか？

Kamau: 英語ではありました。でも、日本語の文書は違います。

Alex: そうですね。

Kamau: 情報を伝える手段ですね。

Alex: はい。

Kamau: でも、書き始める事ができません。

Alex: 簡単な書き方があります。それは3部から成り立っています。「前付け」と「本文」と「後付け」です。

Kamau: 前付けとは何ですか？

Alex: そこでは、文書番号と発信年月日を右寄せで書きます。受信者名を

ひだりよ 左寄せで書きます。そして、発信者名をまた右寄せで書きます。

Kamau: そして、本文ですね？

Alex: ちょっと、まって。

(Christian enters from left)

Christian: 件名を忘れないでね。

Alex: はい。

(Christian exits to right)

Kamau: 本文には書き言葉を使いますか？アメリカでは、英語で書き言葉を使わなければいけません。

Alex: そうですね。日本語には、会話の時に使う「話し言葉」と、文書に使う「書き言葉」がありますが、書き言葉の方が難しいのです。

Kamau: ありがとうございます。

Alex: どういたしまして。

(Alex leaves Kamau to work on the document)

(End Scene)

Scene 2: 挨拶の使い方

(Kamau shows his document to Alex)

Kamau: 文書を書き終わりました。

(Alex looks over it)

Alex: 正しい挨拶の言葉を使いましたか？

Kamau: いいえ。でも、敬語けいごを使いました！

Alex: でも、文書に「季節きせつの挨拶」「安否あんびの挨拶」「感謝かんしゃの挨拶」を書かなければいけません。

Kamau: 文書には「ありがとう」と書きました。

Alex: 感謝かんしゃの挨拶をつかいます。ちょっと、まって。

(Alex holds up a finger for him to wait as he digs out a sheet of paper with terms)

Alex: これは、挨拶の言葉です。

Kamau: 本当ですか。色々な挨拶がありますね。

Alex: 覚えてください！

(Kamau looks discouraged, but Alex pats him on the back)

(End Scene)

Scene 3: He forgot the 後付け

(Christian is reading a document while Kamau waits)

Christian: 後付けがありませんから、文章ぶんしょうが未完成みかんせいです。

Kamau: 後付け？

Christian: 最後さいごの部分ぶぶんです。

Kamau: そうですね、すみません。

(Kamau bows in apology as he accepts the document)

Christian: 後付けでは、別記べっきと追記ついき、担当者名たんとうしゃめいを忘れないでくださいね。分かりましたか？

Kamau: はい、分かりました。

Christian: いいですね。

Kamau: でも...

Christian: 何ですか？

Kamau: 追記^{ついき}とは何ですか？

Christian: 追記^{ついき}は「P.S.」です。

Kamau: ああ、分かりました。あとで、連絡年月日^{れんらくねんがっぴ}を書きます。

Christian: はい。アデリア部長に送りますが、クマ部長の名前を書きます。

Kamau: はい、分かりました。また、終わったら、課長^{わた}にお渡ししますか。

Christian: そうですね。社印^{しゃいん}をおします。

Kamau: 社印^{しゃいん}って、なんですか？

Christian: 社印^{しゃいん}は会社^{いんかん}の印鑑^{いんかん}です。

Kamau: 印鑑^{いんかん}なんですね。

Christian: はい。アメリカではサインを使います。でも、日本では印鑑^{いんかん}を使います。

Kamau: 分かる。

Christian: 分かる？

Kamau: すいません、分かりました。

Christian: そうですね。

(Christian returns to paperwork. Kamau brushes his hand against his forehead in relief and heads back to his desk.)

(End Scene)

Scene 4: クマ社長 changes their mind

(Kamau comes to Christian's desk with the finished document.)

Kamau: すみません。文書を読んでいただけませんか。

Christian: はい。

(Kamau hands the document over and Christian reads over it)

Christian: いいですけど...この文書は使えません。

(Kamau is confused)

Kamau: なぜですか？

Christian: 今、クマ社長はかがきを使いたいのです。

Kamau: でも、文書を書き終わってしまいました。

(Kamau is in disbelief)

Christian: はい。あなたの書き方はうまくなっています。でも、社長ははがき
を使用しようしたいそうです。

Kamau: そうですか。

(Kamau sighs and Alex enters)

Alex: 課長、明日の予定よていを書きましたので、ご覧らんください。

(Hands a document to Christian)

Christian: ああ。ありがとうございます。社長はその文章ぶんしょうを確認かくにんしたいと思
います。今、カーターさんははがきでれいじょうお礼状を書かなければいけません。社長が
変更へんこうしたいそうです。

Alex: 私はカーターさんを手伝います。

Christian: ありがとう。

(Alex and Kamau head over to his desk.)

Alex: はがきは日頃ひごろの感謝かんしゃの気持ちれいじょうを伝えるためのお礼状です。

Kamau: そうですね。同じ形おな かたちの文書を使えますか。

Alex: いいえ。はがきにかわったから、使えません。

Kamau: さいしょに何を書きますか。

Alex: 宛先あてさきの住所じゅうしょは1行ぎょうで書きます。また、会社名かいしゃめいは改行かいぎょうして、住所じゅうしょの文頭ぶんとく

より一文字ひともし分下せいしきめいしゅうげて、正式名称せいしきめいしゅうを書きます。

Kamau: そうですね。ちょっと...

(Quickly writes down notes)

Alex: はがきに書き始めてください。

Kamau: はい。でも...ハガキの裏面うらめんはどうしますか？

Alex: ハガキの裏面うらめんは縦書きたてがにします。感謝かんしゃの気持ちを書きます。エンパイアペーパーとスタークリップスは十年間ねんかん、ビジネスパートナーでしたが、合併がっぺいすることにしました。

Kamau: 会社と会社の合併がっぺいですか？

Alex: はい、クマ社長は合併がっぺいをしたいので、スタークリップスがエンパイアペーパーになろうと思っています。

Kamau: エンパイアペーパーは大きい会社ですから、合併がっぺいは大変ですが。

Alex: 新入社員しんにゆうしゃいんはその事を心配しんぱいしないで、そのはがきをかいてください。

Kamau: はい。分かりました。

(End Scene)

Act 5: The ending

(Setting: It is late and the business is closing up. Alex and Christian are cleaning up their desk and getting ready to leave for the evening.)

Scene 1: Resignation Letter

Christian: あす、アデリア部長に会います。私はその時に、はがきを持っていきます。カーターさん、いいですか？

(Kamau is distracted by something he is writing)

Kamau: ああ、はい。結構けっこうです。

Alex: カーターさん、何を書きますか？

Christian: 本日の文書を書きましたか？

Kamau: はい。

(Kamau tries to hide his document. Christian leaves the scene, but Alex walks over to investigate)

Alex: 文書を書き終わりましたか？

Kamau: はい、書きました。でも、辞表^{じひょう}を書きます。

Alex: 本当ですか。クリスチャンに渡す^{わた}のですか？

Kamau: いいえ。クマ社長^{わた}に渡します。

Alex: そうですか。何か手伝いましょうか？

Kamau: 大丈夫です。はがきを書けるくらいなので、私はその辞表^{じひょう}を書ける
と思っています。

Alex: 分かりました。何か質問がありますか？

Kamau: いいえ。

Alex: 後付けを忘れないように。

Kamau: はい、分かりました。

Alex: 辞表^{じひょう}には、理由^{りゆう}を書かなければいけません。

Kamau: はい。

Alex: でも、理由^{りゆう}は何ですか？

Kamau: 教えられません。個人的な^{こじんてき}ことだからです。

Alex: そうですか。分かりました。クリスチャンにお別れ^{わか}の挨拶をしました
か？

Kamau: あの...たぶん...今晚^{こんばん}、10時半ごろに、私は空港^{くうこう}に行きます。

(Alex shakes his head with disappointment)

Alex: そうですか。さようなら。

Kamau: さようなら。

(End Scene)

Scene 2: Meet クマ社長！

(Kamau enters an office, where the chair has its back turned to him. He can only see the back of the person.)

Kuma: 新しい社員^{しゃいん}のカマウ・カーターさんだね？

Kamau: そうです。辞表^{じひょう}をおわたします。

Kuma: 本当なのか？驚^{おどろ}いた。アメリカに帰るの？

Kamau: 多分...その前に、すこしやらなくてはならないことがあります。

Kuma: ここで色々な事を学んだ？アレックス先輩^{たす}は助けてくれた？

Kamau: はい。

(Kuma slowly puts down the resignation letter with a serious look on his face.)

Kuma: ではやめる理由^{りゆう}は何もないだろ？お前の負け^まだ。むだな抵抗^{ていこう}はよせ。

傷^{きず}つくだけ損^{そん}だ。降伏^{こうぷく}しろ。

(Kamau tries to fight back after the sudden attack by Kuma.)

Kuma: もはや逃^にげられぬ。お前^こを殺^{ころ}したくない。カマウ、お前は自分^{じぶん}の価値^{かち}に氣^きづいておらん。お前は自分^{じぶん}の力^{ちから}に目覚^めめたばかりだ。わしの元^{もと}にこい。わしが訓練^{くんれん}してやる。

Kamau: だれがいくものか。

Kuma: お前^{あんこく}に暗黒^{あんこく}のパワーのすばらしさを教えてやる。

Kamau: 話^{はなし}は聞^きいてるさ。お前^こが父^{ちち}を殺^{ころ}したと。

Kuma: 違う！お前の父はわしだ！

Kamau: うそだ。うそだ！そんなのうそだ！そんなことあるもんか！

Kuma: 心をよんでみる、カマウ！本当だとわかるはずだ！

Kamau: うそだ！

Kuma: カマウ、お前ならスタークリップスの社長^{たお}を倒^{たお}すことができる。このわしと二人でな。それがお前^{うんめい}の運命^{うんめい}なのだ！わしとお前^{ちから}と二人で力^{ちから}を合^あわせてエンパイアペーパー^{しはい}を支配^{しはい}しようではないか。

(Kamau thinks over his options.)

Kamau: いやだ！そんなの^{まちが}間違ってる！それはゆるさない！

(The battle continues with Kuma and Kamau fighting with everything they've got. Kuma is brought to his knees and Kamau uses that opportunity to decapitate the president.)

(Dramatic but otherwise silent death of クマ社長)

Scene 3: Assimilation of Kamau as クマ社長

(Kamau is hurrying to clean up the mess from the battle and put the president's body into a nearby closet before anyone notices. He brushes his jacket and takes a seat at the former president's desk, assuming the role as the new president.)

(Alex is explaining to Christian that Kamau will not be in today.)

Christian: それは本当ですか？昨日、^{かれ}彼はその話しをしましたか？

Alex: はい。昨日、^{じひょう}カマウ君は辞表を書いていました。

Christian: そうですか、^{しゃいん}新しい社員を、やとわなければいけません。

(Sighs with disappointment)

Alex: コーヒーをお入れしましょうか。

Christian: ありがとうございます。私のコーヒーには、^{かくざとう}角砂糖を二つ入れてください。

Alex: はい、分かりました。

(Kamau enters, looking just a little nervous.)

Christian: 今日のミーティングを忘れないでください、社長。

Alex: 11時から始まります！

(Kamau looks at her confused, wondering what meeting she could be talking about. Suddenly he remembers, as far as everyone knows, he is the president.)

Kamau: はい、かしこまりました、先輩！

(Alex and Christian look at him with very confused faces.)

(End Scene)